

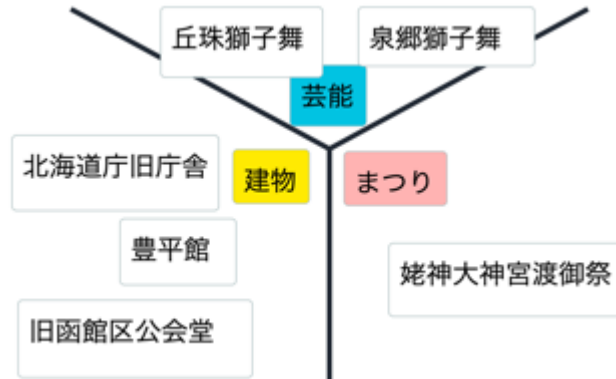
リーディングDXスクール事業【実践事例】

札幌市立中央小学校（札幌市）

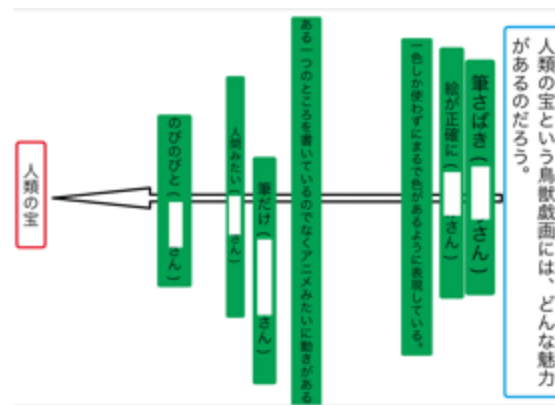
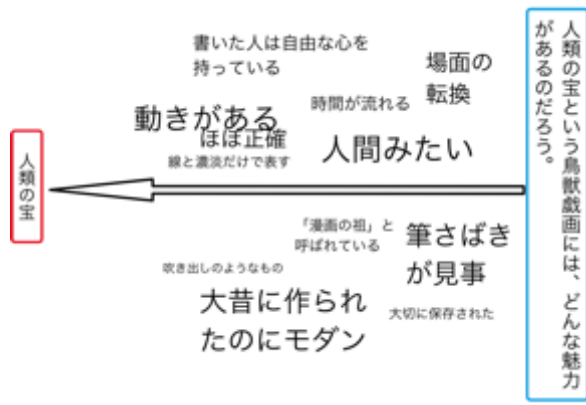
【取組内容①】『個別最適な学び』と『協働的な学び』の一体的な充実

【実践例①】4年 社会科 「郷土の伝統・文化と先人たち」

北海道内の文化財や年中行事にはどのようなものがあるのかを調べ、単元の学習問題をつくる。古くから残るものにはどのような願いが込められ、どのように受け継がれてきたのか、単元の見通しをもつ一時間である。



地図帳や副読本、インターネット等を用いて北海道内に古くから残る文化財について調べ、グループで「建物」「芸術」「まつり」の3種類に分類していく。個人探求の時間からグループの学びに広げていく。また、「どこ」の文化財かをマップ上にピン留めし、クラス全員分の集計を行うことで、空間的な広がりに向けさせることができる。



【実践例②】6年 国語科
「表現の工夫をとらえて読み、それを生かして書こう」～『鳥獣戯画』を読む～
筆者が「人類の宝」と表現する「鳥獣戯画」について、事実と感想、意見などの関係を叙述を基に押さえ、必要な情報を見つけたり、論の進め方について考えたりしていく一時間である。

単元を通して、各自がテーマをもって学習できるように単元構成をデザインしてきた。本時は、個別に行われた思考が、クラウド活用によって学級内でつながっていく場面である。多様な他者の考えに触れることによって、筆者の表現の工夫やロンの進め方についての考えを深めていくことができる。